

—— 気賀の街、おすすめ散策コース ——

有形文化財をめぐるコース（約1時間）

①気賀駅→②要害堀跡→③赤池→④吉野屋旅館→⑤細江神社→⑥歴史民俗資料館→①気賀駅

歌碑・句碑をめぐるコース（約2時間）

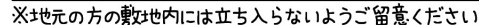
①気賀駅→⑦文学の広場→⑤細江神社→⑥歴史民俗資料館→⑧細江公園→①気賀駅

歴史発見コース（約1,5時間）

①気賀駅→⑨気賀関所→⑩気賀関所跡→⑥歴史民俗資料館→⑤細江神社→①気賀駅

歴史発見コース（約1,5時間）

①気賀駅→⑨気賀関所→⑩気賀関所跡→⑥歴史民俗資料館→⑤細江神社→①気賀駅





# そぞろ歩きで 気賀の魅力発見!!

そぞろ歩きマップを片手に、  
気賀の街の散策に出かけませんか！

## 気賀のまち

気賀のまちは東海道の脇街道（本坂通）、通称「姫街道」沿いに位置し、奥浜名湖の湖畔にあることから、湖北地区の交易の中心でした。

### 気賀宿

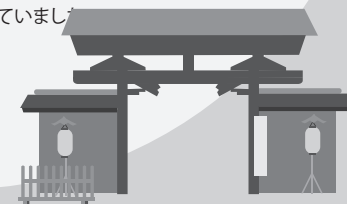
天正15年（1587年、直虎没5年後）、街道の宿と定められ、町屋も整備されました。山手に土塁、南は堀川、東は葭垣、西に石垣と矢来で木戸を造り、その中に80軒の町屋が並び、本陣（旧NTT跡、中村本陣）と問屋場と旅籠8軒の小さな

### 気賀関所

慶長6年5月10日（1601年）徳川家康によって創設されたといわれている関所です。本番所の一部分が民家の屋根として気賀四つ角（国道362号線沿い）の近くに残り、現在の気賀関所はふるさと創生事業（平成元年）により再建された

### 犬くぐり道

「入り鉄砲に出女」を厳しく取り締まった関所は、近所の住民でも通行手形が必要なため、道の途中にむしろ一枚をたらし、人は通れないが犬なら良いと住民はむしろの下を四つ足になってくぐっていました。



## 国登録有形文化財

### 天竜浜名湖鉄道気賀町高架橋

気賀駅のおよそ400メートル東の街中にある二つの高架橋で

### 気賀駅本屋・上屋およびプラットホーム

昭和13年建築の本屋は木造平屋建、寄棟造、赤色の洋瓦葺が北面する。待合室内部の西面に当初からの作り付け木製ベンチ、木製改札口がそのまま残存します。

### 吉野家

法隆寺壁画再現模写で「文殊菩薩」を担当し、第8回日展会員審査員を務められた日本画家 野島 蔵 氏の生家です。作品が細江図書館内に展示されています。

※割烹旅館で（予約制）、建物内部の見学はできません。



## 「地震の神様」で 有名な細江神社

明応の大地震（1498年）の折、浜名湖の入り口にあつた湖の守護神角避比古（つのさくひこ）神社が陥没し、ご神体が気賀赤池の地（赤池様公園）へ流れ着いたので、お祭りしたのが細江神社の始まりといわれ、地震の神様として多くの参拝客が訪れています。



## 句碑・歌碑めぐり・花めぐり

万葉集に引佐細江のみをつくしが詠まれ、小森橋南土手に静岡県最古の碑があり、細江公園の文学の丘には天皇陛下の御製歌碑が設立されています。明治初期の引佐郡長松島十湖氏の影響で俳句・和歌など奥浜名湖の周囲には、多くの句碑や歌碑があります。また、周辺の四季の花めぐりとして、長楽寺の梅、オレンジ道路沿いの花桃、都田川の桜、長楽寺の満天星つつじなどが



## 徳川家康と今川氏の戦績

### 蘭草（いぐさ）神社

宝永の大地震（1707年）で気賀は海水につかり、作物が採れなくなった。その時、気賀近藤家の6代近藤用随は、豊後の国から塩に強い蘭草を取り寄せ、蘭草神社を建てました。昭和20年代まで気賀の特産として多くの農家で、琉球蘭草が栽培され、畳表が織

### 堀川城趾

今川義元が桶狭間で戦死した後、徳川家康の遠州侵攻を防ごうと、気賀の人々は、領主今川氏のために堀川城を造り、最後まで戦

### 獄門啜（ごくもんなわて）

永禄12年9月9日（1569）、徳川軍は堀川城の戦いの残党の首を討ち、小川に沿った道にさらしたので、「ごくもんなわて」と呼ばれて

## 気賀のお祭りと名物

### 姫様道中

毎年4月、姫街道を通過されたであろう豪華絢爛な道中行列が再現されます。

### 祇園まつり

毎年7月、山車の湖上渡御

### 気賀の名物

みそまん、うなぎなど



お問い合わせ

奥浜名湖観光協会 ☎053-523-4720 ホームページ <http://www.oku-hamanako.net/>

浜松市北区役所 まちづくり推進課 ☎053-523-1114

編集 細江まちづくり協議会